

令和5年度 大阪府障がい者地域医療ネットワーク推進事業実施連絡会研修会

大阪府では障がいのある方が身近な地域で安心して医療が受けられるよう、地域の医療関係者の皆様に障がいのある方への理解を深めていただくことを目的に研修会を実施しています。今年度の研修会は、動画配信で開催いたします。ぜひお申し込みのうえご視聴ください。

1. 研修内容（詳しくは裏面をご覧ください。）

YouTube（大阪府アカウント）による映像配信 全5時間程度

～第1部～「脳性まひによる障がいのある方への支援を理解する」

～第2部～「脊髄損傷者の排泄について考える

～基本的な症状・新たなアプローチと多職種連携について～」

（YouTubeを視聴できる環境があればどなたでもご覧いただけます。）

2. 参加費 無料

3. 対象者 医療・福祉関係者等の皆様

4. 申込方法及び申込先

○インターネット申込とします。

（インターネット申込が難しい等のご事情がある方は、お問い合わせ先までご連絡ください。）

（1）申込み先 大阪府ホームページ

下記アドレスまたは本紙左下QRコードよりアクセス可能です。

http://www.pref.osaka.lg.jp/chiikiseikatsu/shogai-chiki/shougai_chiiki.html

（2）申込みから受講の流れ

期間	申込み者	大阪府（事務局）
令和5年9月11日（月）～ 令和5年10月31日（火）	インターネット申込	・受付完了メールを送信 ・申込み者の受講決定を行い、 受講決定者にはメールで通知 ・映像講義受講に必要なURL記 載のメールを送信
令和5年9月21日（木）～ 令和5年12月15日（金）	大阪府から受信した受講決定 メールに記載のURLより YouTubeで研修会に参加	

（3）締切

申込締切 令和5年10月31日（火）

視聴締切 令和5年12月15日（金）

5. 個人情報の保護について

本研修において知り得た個人情報については、本研修の実施につき必要な範囲でのみ用いることといたします。



←
申
込
み
Q
R
コ
ー
ド
←

<お問い合わせ先>

〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目

大阪府福祉部障がい福祉室地域生活支援課

【TEL】06-6944-6671(直通) 【FAX】06-6944-2237

【E-mail】chiikiseikatsu@sbox.pref.osaka.lg.jp

主催：大阪府障がい者地域医療ネットワーク推進事業実施連絡会

事務局：大阪府福祉部障がい福祉室地域生活支援課

※この研修は一般社団法人大阪薬業クラブの助成を受けて実施しています。

令和5年度
大阪府障がい者地域医療ネットワーク推進事業実施連絡会研修会

～第1部～

「脳性まひによる障がいのある方への支援を理解する」

1. 脳性麻痺の二次障害と生活機能向上

講師 社会医療法人大道会ボバース記念病院 副院長 吹上 謙一
日本整形外科学会専門医・指導医/近畿小児整形外科懇話会世話人

2. 学齢期から成人期への切れ目のない支援について

講師 社会福祉法人愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター地域医療連携部地域医療・福祉相談室 室長 近藤 正子
看護師/社会福祉士/相談支援専門員

3. 脳性まひの方の在宅における医療的ケアの実際

講師 社会医療法人大道会 訪問看護ステーションおおみち 管理者 川本 麻衣
看護師

～第2部～

「脊髄損傷者の排泄について考える

～基本的な症状・新たなアプローチと多職種連携について～

主催者挨拶

医療法人稜陽会 住田リハビリテーションクリニック 院長 住田 幹男
(社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 前診療部長)
日本リハビリテーション医学会専門医・指導医/日本整形外科学会専門医・指導医/心臓リハビリテーション指導士/
日本リハビリテーション医学会名誉会員/日本脊髄障害医学会名誉会員

1. 脊髄損傷者の排尿障害を取り巻く最近の動向

講師 医療法人桂会 平尾病院 名誉院長 百瀬 均
日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医・指導医/日本排尿機能学会認定専門医/日本脊髄障害医学会理事

2. 多職種による支援事例①

～排泄リハビリテーションにおける看護師・理学療法士・作業療法士の役割、排泄ケアチームの実践～

講師 独立行政法人 地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター 小西 直弥
作業療法士

3. 多職種による支援事例②

～脊髄損傷者への在宅生活における排泄管理を踏まえたケアプラン作成～

講師 社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 ケアプランセンター愛仁会高槻 管理者 科長 志場 幸子
主任介護支援専門員/介護福祉士

【事例発表】脊髄損傷による排泄管理が必要なケアプラン作成について

～103歳の母親と自宅で暮らしたい～

講師 社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 ケアプランセンター愛仁会高槻 副主任 前埜 麻衣子
介護支援専門員

4. 当事者体験談

～脊髄損傷者の排泄障がいに関する生活面での工夫について～

一般社団法人 大阪脊髄損傷者協会 理事 越野 清三 / 理事 原 雅基

5. 【ディスカッション】排泄ケアにおける各職種の役割～地域生活における支援を中心に～

講師 医療法人稜陽会 住田リハビリテーションクリニック 院長 住田 幹男

講師 医療法人桂会 平尾病院 名誉院長 百瀬 均

講師 独立行政法人 地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター 小西 直弥